



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日
東

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	349,357	△2.4	14,476	6.8	14,874	1.7	8,831	△0.6
2020年3月期第3四半期	358,001	12.9	13,549	29.1	14,630	33.1	8,884	34.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,638百万円(8.5%) 2020年3月期第3四半期 9,807百万円(72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	186.91	169.58
2020年3月期第3四半期	186.56	169.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	318,166	111,300	33.9
2020年3月期	308,873	104,681	33.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 107,881百万円 2020年3月期 101,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	77.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	3.2	21,000	11.7	21,000	5.4	12,100	2.5	256.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	50,834,700株	2020年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,659,527株	2020年3月期	3,420,627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	47,253,273株	2020年3月期3Q	47,624,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2021年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、2020年5月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経済・社会活動が大幅に制限され、個人消費や企業収益が減少したことで景況感は急速に悪化しました。また、徐々に経済活動が再開され、政府のGoToキャンペーン等による景気対策等もあり持ち直しの機運も高まりましたが、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界は、同感染症拡大の影響から医療機関への受診抑制や手術件数減少等により外来・入院収益の大幅な減収を余儀なくされるとともに、同感染症への対応に対する社会的要請が高まっております。これに応えるため、コロナ専門病棟等の新設・改築に伴う設備投資が進んだ一方で、専門領域の医療従事者不足や感染予防対策の徹底等、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業ではメーカー系が受注残の増加を伴って堅調に推移するとともに、プロジェクト案件は中・小型案件を中心に概ね計画通り進捗いたしました。医療機関の収益減の影響から機器更新需要が弱含んで推移いたしました。メディカルサプライ事業では、RFIDで全ての消耗品在庫を一括管理する業界初の自動倉庫「大阪ソリューションセンター」が竣工し、2021年6月の本格稼働に向けて順調に準備が進みました。ライフケア事業におきましては、高い入居率を維持することで順調に推移し、調剤薬局事業におきましても経営効率化を進めることで堅調に推移いたしました。さらに、感染症対策の必要性から、当社プライベートブランドである国産サージカルマスク「SHIPマスク」及び低濃度オゾン発生装置「エアネス」シリーズの引き合いが増加し、これまでにはなかった新たな販路の拡大が進みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は349,357百万円（前年同四半期連結累計期間比2.4%減）、営業利益は14,476百万円（前年同四半期連結累計期間比6.8%増）、経常利益は14,874百万円（前年同四半期連結累計期間比1.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,831百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、メーカー系の業績が堅調に推移するとともに、中・小型のプロジェクト案件が計画通り進捗いたしました。また、仮設の発熱外来ユニットやコロナ専門病棟のパッケージ受注等、新たな取り組みも奏功いたしました。さらに、新規連結したミャンマーの医療機器販売子会社の業績が寄与した一方で、感染症の拡大に伴う機器更新需要減衰の影響を受け低調に推移いたしました。

この結果、売上高は60,332百万円（前年同四半期連結累計期間比18.5%減）、セグメント利益（営業利益）は5,889百万円（前年同四半期連結累計期間比13.3%減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、医療機関の受診抑制に伴う需要減少や償還価格改定の影響を受けながらも、グループ内の連携、経営効率化及び感染症対策商材の展開等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は244,447百万円（前年同四半期連結累計期間比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は4,553百万円（前年同四半期連結累計期間比28.4%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国一体経営による経営効率化が進むとともに、厳格な感染症対策が奏功し、高い入居率を維持することができました。

この結果、売上高は18,476百万円（前年同四半期連結累計期間比3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,703百万円（前年同四半期連結累計期間比28.5%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、期初と比較して医療機関受診抑制が和らいできたことに加え、経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は20,167百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は2,047百万円（前年同四半期連結累計期間比5.2%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、建物総合管理会社の業績が新たに寄与し、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,933百万円（前年同四半期連結累計期間比32.1%増）、セグメント利益（営業利益）は444百万円（前年同四半期連結累計期間比99.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は318,166百万円となり、前連結会計年度末と比べて9,293百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が10,687百万円、有価証券が4,983百万円減少した一方、投資有価証券が12,055百万円、商品及び製品が5,333百万円、受取手形及び売掛金が2,345百万円増加したこと等によるものであります。

負債は206,866百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,674百万円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金が3,433百万円減少した一方、短期借入金が2,739百万円、電子記録債務が2,626百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は111,300百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,618百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が3,556百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が8,831百万円、その他有価証券評価差額金が2,199百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は33.9%（前連結会計年度末比0.9ポイント増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2020年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,717	68,030
受取手形及び売掛金	95,623	97,968
電子記録債権	3,611	4,536
リース投資資産	3,500	3,393
有価証券	5,101	118
商品及び製品	14,029	19,362
仕掛品	1,511	2,252
原材料及び貯蔵品	845	873
その他	7,629	10,002
貸倒引当金	△71	△171
流動資産合計	210,499	206,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,534	19,689
土地	16,100	15,751
賃貸不動産（純額）	11,213	10,965
その他（純額）	11,166	10,631
有形固定資産合計	57,014	57,038
無形固定資産		
のれん	8,548	10,052
その他	972	974
無形固定資産合計	9,520	11,026
投資その他の資産		
投資有価証券	14,535	26,590
長期貸付金	7,810	7,592
その他	11,209	11,303
貸倒引当金	△1,716	△1,752
投資その他の資産合計	31,838	43,734
固定資産合計	98,373	111,799
資産合計	308,873	318,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	90,121	89,824
電子記録債務	19,598	22,224
短期借入金	935	3,674
未払法人税等	4,400	2,414
賞与引当金	2,194	1,024
その他	15,864	19,278
流動負債合計	133,115	138,441
固定負債		
新株予約権付社債	25,091	25,072
長期借入金	36,987	33,554
退職給付に係る負債	2,873	2,972
資産除去債務	838	847
その他	5,284	5,977
固定負債合計	71,076	68,424
負債合計	204,191	206,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,895	23,891
利益剰余金	74,841	80,117
自己株式	△14,447	△15,526
株主資本合計	99,841	104,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,019	4,219
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△152	△446
退職給付に係る調整累計額	75	73
その他の包括利益累計額合計	1,942	3,846
非支配株主持分	2,897	3,419
純資産合計	104,681	111,300
負債純資産合計	308,873	318,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	358,001	349,357
売上原価	322,009	311,640
売上総利益	35,992	37,717
販売費及び一般管理費	22,443	23,241
営業利益	13,549	14,476
営業外収益		
受取利息	300	242
受取配当金	236	232
負ののれん償却額	116	—
持分法による投資利益	33	—
為替差益	26	110
補助金収入	—	235
貸倒引当金戻入額	364	1
その他	239	299
営業外収益合計	1,317	1,122
営業外費用		
支払利息	203	251
持分法による投資損失	—	17
支払手数料	—	212
その他	32	242
営業外費用合計	235	724
経常利益	14,630	14,874
特別利益		
固定資産売却益	194	4
投資有価証券売却益	—	27
その他	—	2
特別利益合計	194	35
特別損失		
段階取得に係る差損	—	92
固定資産売却損	4	6
減損損失	—	61
固定資産除却損	—	20
投資有価証券売却損	—	19
投資有価証券評価損	0	—
その他	1	22
特別損失合計	6	223
税金等調整前四半期純利益	14,818	14,686
法人税、住民税及び事業税	4,946	5,114
法人税等調整額	940	720
法人税等合計	5,886	5,834
四半期純利益	8,932	8,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,884	8,831

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	8,932	8,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	973	2,199
為替換算調整勘定	△105	△410
退職給付に係る調整額	7	1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3
その他の包括利益合計	875	1,787
四半期包括利益	9,807	10,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,790	10,735
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△97

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	73,988	241,359	17,876	20,285	353,510	4,491	358,001	—	358,001
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,146	801	163	4,320	7,431	246	7,678	△7,678	—
計	76,134	242,160	18,039	24,606	360,941	4,738	365,679	△7,678	358,001
セグメント利益	6,793	3,546	1,326	1,946	13,612	222	13,834	△285	13,549

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業、建物総合管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△285百万円には、セグメント間取引消去△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,332	244,447	18,476	20,167	343,424	5,933	349,357	—	349,357
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,789	2,136	180	20,542	24,649	324	24,973	△24,973	—
計	62,122	246,583	18,657	40,710	368,073	6,257	374,331	△24,973	349,357
セグメント利益	5,889	4,553	1,703	2,047	14,194	444	14,638	△162	14,476

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業、建物総合管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△162百万円には、セグメント間取引消去△59百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△92百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、(株)エス・ティー・ケー株式を取得し、連結の範囲に加えており、(株)チャーム・ケア・コーポレーションの持分を取得し、持分法の適用の範囲に加えております。

当該事象により「ライフケア事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が9,859百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Okkar Thiri Co., Ltd. 及びSnow Everest Co., Ltd. 株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルパックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、3,013百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。